

毎日雨続きで、芽が出てきたさくら草はどんどん伸びて、はや、つぼみ、花も咲き始めています。「久住山」と名札に記されています。九重山とも表記されますが九州大分県竹田市のもので、日本各地に桜草の自生地がありますが、名前から想像するのも楽しいものです。

さて、通信も22号となりました(今までの通信は、ブログ[富士山と花と山の四季](#)をご覧ください)栽培上の注意点、花の特徴などを数年にわたり紹介してきたのでお分かりになっているかと思いますが、年によって気温、雨の降り方、株の状態などで成育が影響を受けます。

※ 株元が上がってきています。[増し土](#)をこころがけてください。



久住山



富士山



清水宏明さんの鉢植えの桜草も大きく成長していました。土や肥料の良さかとても立派な「桜川」でした。その横のガーベラの見事さも ご自慢の咲きっぷり、どうやら草花を育てる楽しさにはまったみたいです。



ガーベラ
と思えぬ
豪華な花

4月になると沢山のさくら草がさいてきます。皆さまのおたくを訪問し拝見させていただきます。通信で紹介しながらさくらそうの輪をさらに広げていきたいと思ひます

白蜻蛉
しろとんぼ

